

科目名		産業保健疫学実習	
科目責任者	樺田 尚樹	(産業・地域看護学 教授)	
担当者	原 邦夫	(安全衛生マネジメント学 教授)	
担当者	中谷 淳子	(産業・地域看護学 教授)	
開講時期:	2年次	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 60 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>産業保健スタッフのリーダーとなることを前提に、現場と連携し、科学的根拠に基づいて産業保健活動を計画できるようリサーチマインドを育成する。同時にプレゼンテーション能力を高め、高いレベルの学会発表が行えることを目指す。産業保健現場の隠れた問題点も見出せるよう、高い能力を養う。必要に応じて産業保健師や産業看護師、産業医と連携を取り現場に必要な能力も養う。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 現場の情報を的確に集め、無理のない研究計画を立てることができるようになる。</li> <li>2) 産業保健スタッフとコミュニケーションを取り、実現可能な産業保健計画を立てることができる。</li> <li>3) 産業保健疫学の研究倫理に基づき、基本的な事項を整理し、議論することができる。</li> <li>4) 研究成果の公表、個人や部署単位のフィードバック、管理監督者教育ができるようになる。</li> <li>5) 得られたデータを多面的に評価できる。</li> </ol>			
● 評価方法	討論40%・発表40%・レポート20%等で総合評価する。		
● 参考文献	実習の中で必要に応じて紹介する。		

● 授業内容

内容	担当教員
研究計画に実現性があるか、コストベネフィット等も考慮したうえで実行し、解釈の仕方、まとめ方を指導する。	櫛田、原 中谷
個人及び集団の調査結果を解析し、産業保健現場の改善を効率よく指導できる能力を習得する。	櫛田、原 中谷
研究成果を平易に解説できるようプレゼンテーション能力を高める。	櫛田、原 中谷